

# 市長の平成29年度施政方針に対し 各会派から代表質問

## インターネットで録画配信中!

京田辺市議会の本会議の中継は、市議会ホームページからご覧いただけます。見られなかった方も、約1週間後には録画映像を配信いたしますので、視聴してみてください。



施政方針演説を行う石井市長

石井 明三 市長

### 平成29年度施政方針における 基本政策と市政運営の視点

日本全体、特に地方の人口が減少し、急速に少子高齢化が進行する中、各自自治体においては知恵を絞りながら、地域の特性を生かしたまちづくりを模索し、懸命にまちの活性化に取り組んでいます。本市でも、市民公募で選ばれた「便利でええやん!京田辺」というキャッチフレーズが示すように、まちの魅力である交通便利性を最大限に生かしながら、人口動向や超高齢化社会を見据えた独自の取り組みを進めなければなりません。そのため、私の政策マニフェストに連動した「まちづくりプラン」に掲げる5つの重点プロジェクトを中心に、各種施策を着実に展開し、本市の目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現への歩

みを加速してまいります。まず、「新名神高速道路」の整備インパクトなどを生かして、新たな財源確保とまちの活性化を図るため、企業立地を促進する取り組みと市中部における中心市街地の魅力アップに向けた取り組みを着実に進めてまいります。また、未来を拓き、次代を担う子どもたちをしっかりと育てるため、本市の特性を生かしながら、これまでの枠にとらわれないとなく大胆な取り組みを展開するため、市長直轄の組織として「輝く子ども未来室」を設置することになりました。さらに、「全国小学生ハンドボール大会」などのスポーツイベントや、市制20周年の特別記念事業として開催する宇宙飛行士による講演

会、NHKによるのど自慢やラジオ体操、野球教室などを通じ、京田辺の未来を拓く子どもたちの豊かな人間形成に努めてまいります。一方、5つの重点プロジェクトを中心に各種施策を力強く進めるため、平成28年度から取り組んでいる「新行政改革プラン」の全庁あげでの推進に加え、新たな地方公会計制度の導入や公共施設等総合管理計画に基づく施設の管理運営に取組み、さらなる持続可能な財政構造の構築に取り組んでまいります。また、施策推進と市民サービス向上の担い手となる職員について、引き続き、人材育成基本方針に基づき、高い倫理観と使命感、情熱を持ち、失敗を恐れず積極的にチャレンジしていく意

欲と行動力を育成してまいります。さらに、まちづくりの重要なパートナーである同志社大学や同志社女子大学との連携をこれまで以上に強化することで、大学が持つ豊富な人材や知的資源をまちづくりに生かしてまいります。その他、「市民満足度調査」を実施し、社会情勢の変化と市民ニーズに応じた施策が展開できているかを検証することで、市民のみならず、声を反映した市政の推進に努めてまいります。そして、第3次総合計画に次ぐ、まちづくりの新たなステージに向けた計画の策定準備に取り組んでまいります。以上のような視点をもって、重点プロジェクトを展開することによって、「まちづくりプラン」の推進を加速してまいります。

## 平成29年度 京田辺市

# 5つのキーワード と主要な施策(抜粋)

### 1 『安全・安心』

- 「防災広場」の整備を進める
- 田辺高校と草内小学校で「避難所運営訓練」
- 「洪水ハザードマップ」を改定し全戸配布
- 「耐震シェルター」の設置に支援
- 「高度な消防指令システム」導入と「高規格救急自動車」の更新

### 2 『緑』

- 「地球温暖化対策実行計画」の改定
- ごみ焼却施設建設敷地造成の実施設計等

### 3 『健康』

- 「子育てガイドブック」の作成
- 「河原保育所仮設園舎」の設置
- 16～29歳対象に「健康診断」を実施
- 「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」や「第5期障害福祉計画」の策定
- 「基幹相談支援センター」の設置

### 4 『文化・教育』

- 「田辺中学校体育館」の改修
- 「京田辺市展」や「文化コーディネーター養成講座」の開催
- 「京田辺市史」の編さんに着手
- 「花見山スケートパーク」でスケートボード大会を開催

### 5 『田園都市』

- コンパクトシティ向け「立地適正化計画」策定
- 新市街地整備に向けた検討を進める
- 東地区での「農地の乾田化工事」を実施
- 「お茶の京都博」の活用と「一般社団法人 お茶の京都振興社」との連携
- 泉佐野市との「特産品相互取扱協定」に基づく関西国際空港周辺でのPRや販売